

2024年5月20日

2023年度 学校関係者評価委員会 報告書

学校法人伊藤学園
秋田情報ビジネス専門学校
学校関係者評価委員会

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者評価委員会において「2023年度自己評価報告書」に対し、評価を行った。学校側からの説明および各委員からの意見を以下の報告書として取りまとめた。

【学校関係者評価委員】

≪外部委員≫

- ・鳥海 良寛 氏 日本薬剤師連盟 会員
- ・照井 一成 氏 一般社団法人情報通信設備協会東北地方本部 副本部長
- ・池谷 朝洋 氏 ラップ東京株式会社 代表取締役
- ・工藤 明美 氏 ワンワンサロンわんまる。 代表
- ・佐藤 夕 氏 株式会社南部医理科 社員

≪学校側≫

- ・佐藤 庸子 秋田情報ビジネス専門学校 校長
- ・佐藤 寿太郎 秋田情報ビジネス専門学校 副校長

【学校関係者評価委員会】

日時：2024年5月20日（月）15：30～16：25

場所：学校法人伊藤学園 秋田情報ビジネス専門学校 応接室

1. 学校からの配布資料

- (1) 2023年度事業報告書
- (2) 2023年度自己評価報告書

2. 学校からの主な説明

- (1) 2023年度事業報告書についての説明。
- (2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき評価を実施した結果の報告。

3. 委員からの主なコメント、質疑応答

コメント：秋田情報ビジネス専門学校で動物看護について学べるということを各所の動物病院がどこまで周知しているのか、今後のことを考え就職支援を早くから行っていく必要があるのではないか。

回答：広報活動や実習授業、イベント活動への参加などを通してSNS等も活用しながら周知に努めている。

・評価項目（2）－5

情報システム化等による業務の効率化が図られているか

コメント：具体的に情報システム化とはどのようなことなのか。

回答：事務局で行われている事務作業や教務が行っている事務作業の効率化を図る。具体的には、銀行手続きや書類作成等手書き作業部分の効率化を行い、事務作業に係る作業時間を減らすことで、特に教務の教育活動への時間を今まで以上に使っていただくようにしていきたいと考えている。

・評価項目（6）－3

防災に対する体制は整備されているか

コメント：評価部分の適切がほぼ適切より割合が低い理由はどんなことが考えられるか。

回 答：一部の経年劣化等みられるため、改修箇所の確認や整備を順次行っているが、全てではないためだと考えられる。

コメント：7月の大雨被害は学園でどのくらいあったか。また、水害に対しての体制等について

回 答：雨漏り被害は多くあったが、浸水などの水害については幸いどの校舎も被害が無かった。

地域貢献としては、周辺の被害にあわれた病院からの要請があり、学生アルバイトという形で実際に学生が手伝いを行った。

・評価項目（7）－1

学生募集活動は、適正に行われているか

コメント：InstagramやX（旧Twitter）などのSNSはどの程度活用されているか。

回 答：ホームページでブログの公開、Instagramを活用しオープンキャンパスの風景や学校行事等を公開している。

以 上

2024年5月21日

2023年度 学校関係者評価委員会 報告書

学校法人伊藤学園
秋田社会福祉専門学校
学校関係者評価委員会

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者評価委員会において「2023年度自己評価報告書」に対し、評価を行った。学校側からの説明および各委員からの意見を以下の報告書として取りまとめた。

【学校関係者評価委員】

≪外部委員≫

- ・渡部 幸雄 氏 秋田県介護福祉士会 会長
- ・須田 剛 氏 社会福祉法人秋田県厚生協会 特別養護老人ホーム高清水寿光園 施設長

≪学校側≫

- ・佐藤 庸子 秋田社会福祉専門学校 校長
- ・佐藤 寿太郎 秋田社会福祉専門学校 副校長
- ・菅原 博子 秋田社会福祉専門学校 教員

【学校関係者評価委員会】

日時：2024年5月21日（火） 15：00～15：45

場所：学校法人伊藤学園 秋田社会福祉専門学校 応接室

1. 学校からの配布資料

- (1) 2023年度事業報告書
- (2) 2023年度自己評価報告書

2. 学校からの主な説明

- (1) 2023年度事業報告書についての説明。
- (2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき評価を実施した結果の報告。

3. 委員からの主なコメント、質疑応答

コメント：学生の募集活動についてどのように行っているか。

回答：広報活動として、在校生の出身高校へ、卒業生の報告を含めた訪問を行うとともに、企業主催の進路相談会等に積極的に参加している。

・評価項目（3）課題について

より質の高い教育の提供の検討

コメント：より質の高い教育とは具体的にどういったことか。

回答：必須実習以外の実習や演習を強化できればと考えている。

コメント：実習の受入等について、新型コロナウイルス感染症の影響が残っているものかどうか。

回答：新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行になったことで、障がい者施設を中心に見学体験や実習などを行わせていただいている。

・評価項目（6）課題と改善点について

コメント：施設・設備の拡充とは具体的にどんなことか。

回答：7月の豪雨に伴う雨漏りに対応する改修を行った。

以上